

いばらきオープンカンパニー 「いばらき、クルクル。」 令和7年度 説明会



いばらき、クルクル。

次なる
茨木へ。



茨木市 産業環境部 商工労政課 企業支援係

茨木には、次がある。

本日の説明会の目的

今年のオープンカンパニーに向けた準備を一緒に進めていくため、以下の3点を共有したいと思います。

背景の 共有

- これまでの経緯や目的も含めて知ってもらいたい

体験の 共有

- 去年参加された企業の体験を聴いて、自社が参加している様子をイメージしてもらいたい

未来の 共有

- 茨木市が目指す今後のオープンカンパニーの姿を共有した上で、一緒に取り組んでくれる企業を増やしたい

※今年度の事業詳細や参加方法については、この説明会の最後にご案内します。

本日の流れ

- 1 概要（オープンカンパニーとは？）
- 2 体験談の共有

（休憩）

- 3 トークセッション・質疑応答
- 4 参加に向けた手続きとスケジュール、注意事項の案内

1 概要説明

(オープンカンパニーとは？)

いばらきオープンカンパニー 「いばらき、クルクル。」の概要と取組内容について



いばらき、クルクル。

次なる
茨木へ。



そもそも・・・オープンカンパニーって何？ ①

オープンカンパニーの背景に、ものづくり産業の厳しい状況があります

まちこうば
「町工場」に対して、こんなイメージを持っている方に会ったことはありませんか？



忙しい、ハード



職人、厳しい



危険な作業がある

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

ものづくりの仕事は3K（きつい、危険、汚い）と呼ばれ敬遠されてきた

そもそも・・・オープンカンパニーって何？ ②

敬遠されてきた（知名度も低い）ため、人材確保にハンデがある
→後任がいなくなり、廃業する事業所もある



敷地には部外者は簡単には入れない
→どんなものを作っているのか、どんな人がいるのかわからない



うちのことを知ってほしい・・・
まずは近隣の方の印象を良くしたい・・・

町工場を見てもらい、魅力を伝えて、
将来的には雇用にもつなげたい！
→オープンファクトリーのきっかけ



次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

そもそも・・・オープンカンパニーって何？ ③

企業が工場などを外部の人（近隣の方、こども、学生など）に見せて、事業所に親近感を持ってもらったり、企業の魅力、ものづくりの楽しさややりがいを伝えたり、来場者や他の企業と交流するきっかけになる場をつくる取組のこと

→主に「（地域一体型）オープンファクトリー」と呼ばれている

関西では八尾や東大阪などが先進事例として挙げられる



八尾や堺、大東などの企業を中心にしたコミュニティ「FactorISM（ファクトリズム）」



東大阪で実施されているオープンファクトリーイベント「こーばへ行こう！」

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

そもそも・・・オープンカンパニーって何？④

「オープンファクトリー」については、経済産業省 近畿経済産業局のホームページでも紹介されていますので、そちらもご覧ください

<https://www.kansai.meti.go.jp/1-9chushoresearch/openfactory/openfactory.html>



トップページ > 施設のご案内 > 産学官連携 > 地域一体型オープンファクトリー

地域一体型オープンファクトリー

最終更新日：令和7年1月16日

地域一体型オープンファクトリー

「オープンファクトリー」とは、ものづくり企業が生産現場を外部に公開したり、来場者にものづくりを体験してもらう取組であり、従来から工場見学やツアーといった形態で実施されてきましたが、近年では、ものづくりに関わる中小企業や工芸品産地など、一定の産業集積がみられる地域を中心に、企業単独ではなく、地域内の企業等が面として集まり、地域を一体的に見ていく「地域一体型オープンファクトリー」という取組へと進展をみせています。

地域一体型オープンファクトリーは、開催する地域社会(住民)にとっては、自らのまちの魅力を発信する再認識する契機となり、企業にとっては、地域社会と新しい接点を持つことで、地域の企業としての意識(ローカル・カンパニー・プライド)の芽生えやイノベティブな着想を得る機会につながっています。また、継続的に実施されている地域一体型オープンファクトリーが持つ集客力や求心力は非常に強力であり、地域内外から多くの集客を獲得しています。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の時代背景においても、情報通信技術を活用したオンライン開催など、手段の多様化により、地域の新たな魅力発信手段として注目されていくものと推測されます。

こうした現状をふまえ、2025年大阪・関西万博を見据えて、新たな関西の魅力を発信する手段としての地域一体型オープンファクトリーの意義を改めて整理する必要があることから、関西各地に広がる地域一体型オープンファクトリー内でのようなイノベーションが生まれているのか、その要因を調査するとともに、各キーパーソンのネットワークを構築・活用することで、中小企業が主役となる地域一体型オープンファクトリーと外部資源(大手企業、ベンチャー企業等)との協業可能性を検討することを目的として調査を実施するなど、様々な角度から取組を行っています。

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

社会見学と何が違うんですか？



似ていますが、違います！

社会見学：

- ・学校から企業へ依頼するもの＝基本的に、企業は受け身（主役は見学者）
- ・見学は「見て学ぶ」＝主に視覚的に工場を体験する
- ・授業の一環として、見学者の目的（学校・先生の方針）があり、その方針に合わせた学びを得るためのもの

オープンファクトリー：

- ・企業が「この日、見に来てください」と自ら敷地などを公開するもの（主役は企業）
- ・見るだけでなく、触る、音を聞く、においをかぐ、など五感で体験する
- ・見学する中で、「知らなかった！」と気づいてもらい、現場ならではの
+αの発見や経験を得ることができるもの（何を学ぶかは参加者しだい）

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

企業にメリットってあるの？

また、企業どうしの交流が活発になった事例もあり、
すでに茨木市でも見られています

様々なメリットがあります！その一例をご紹介します

・整理整頓や安全点検などの習慣を見直すきっかけになる

家にお客さんを呼ぶとき、掃除や整頓をしますよね。それは企業も同じです

・従業員のモチベーションやスキルの向上

「すごい！」と言われたり、喜ぶ姿を見ると、人はうれしくなります

→やりがいやモチベーション向上に

人にものごとを教えるのって難しい。

説明や実演をすることで、従業員の理解度の確認やスキル向上にもつながります

・将来的な人材確保につながる

「自分もここで働いてみたい」という気持ちにつながれば、

事前にそこでどんな人が働いてるか知ることができる機会となります

→入社後の「思ったのと違う。やめよ・・・」を未然に防ぐことも期待できます

次なる
茨木へ。

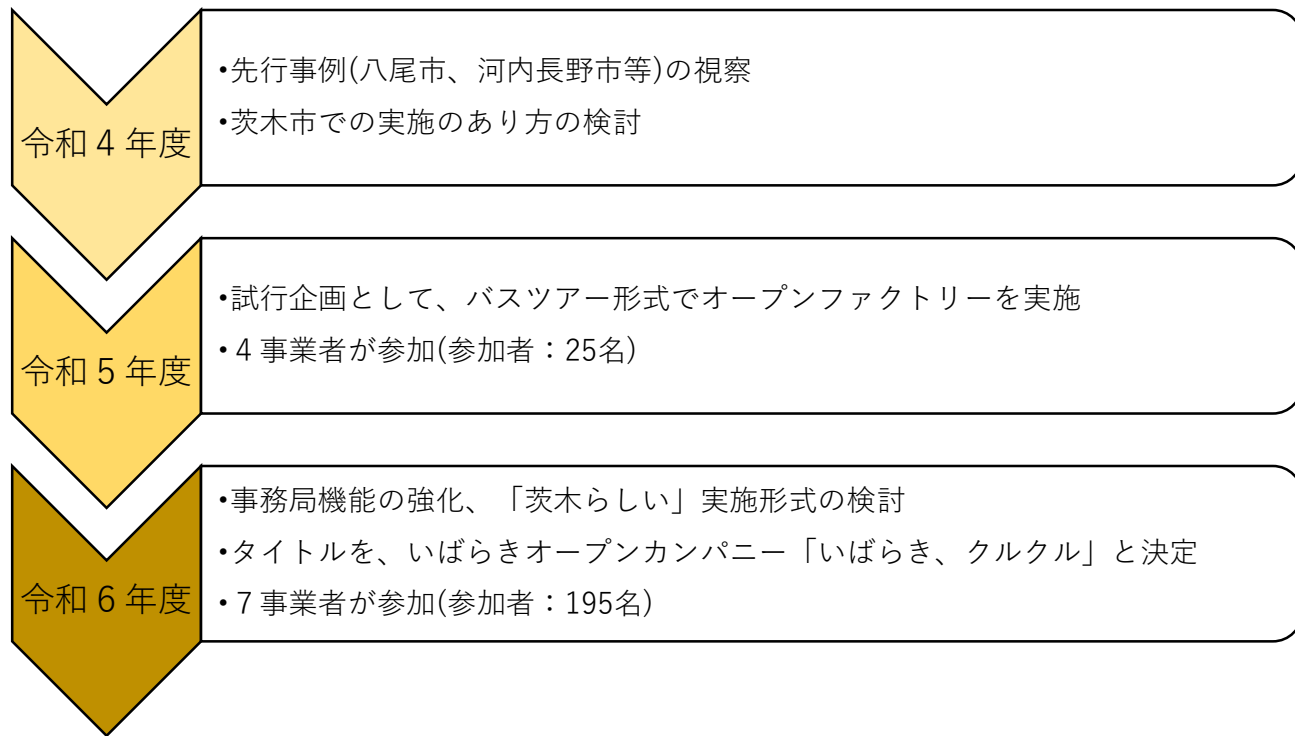


茨木には、次がある。

いばらきオープンカンパニーの経緯と 取組状況



オープンカンパニー実施までの経緯



次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

令和5年度

『いばらきオープンファクトリー×バスツアー』概要

茨木市では令和5年度に、
オープンファクトリーの試行としてバスツアーを開催しました

○対象

小学生以下の子どもと保護者（定員午前午後 各12名）
⇒100組以上の家庭から申込（抽選）

○開催日時および参加企業

2023年11月18日（土）

午前の部：9:00-12:00 ①辰巳工業(株)、②橋本食糧工業(株)

午後の部：13:30-16:30 ①高石工業(株)、②(株)伏見屋



餡（あん）を使った
オリジナルもなか作り体験
（橋本食糧工業）



ゴム加工の工程の見学
（高石工業）

親子で工場見学体験
いばらき
オープンファクトリー
バスツアー
2023 11.18 SAT
参加費 無料
普段は見られない
工場の裏側を見よう！
茨木工場
午前部 9:00 - 12:30 午後部 13:30 - 16:30
辰巳工業(株) / 橋本食糧工業(株) 高石工業(株) / (株)伏見屋
対象：小学生以下の子どもと保護者（1組3名まで） 定員：各12名（抽選）
参加の抽選応募はQRコードからお申込みください▶▶▶
※抽選の結果は当選者のみご連絡します
申込受付期間 | 10月28日(月)～27日(金) お問い合わせ先：茨木市商工労政課 ☎072-620-1620
IBARAKI OPEN FACTORY

オープンファクトリーから「オープンカンパニー」へ

オープン「ファクトリー」

= 工場（ものづくり企業）以外は参加できない、という印象を受けるかもしれない

茨木市は製造業だけでなく、物流業や商業施設なども多く立地し、
近年、製造業以外の企業の進出が増えている

⇒茨木市の特性に合わせて、ものづくり企業に限定せず、
多様な企業が参加・交流できるあり方を検討したい

⇒「オープンカンパニー」として実施

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

令和6年度

いばらきオープンカンパニー『いばらき、クルクル。』概要

○対象

主に茨木市内在住・在学・在勤の方
※市外の方にもご来場いただきました

○開催日時および参加企業

2024年11月4日（月・振替休日）

○昨年度からの変更点

参加企業数：4社から7社へ増加

参加企業（五十音順）

- ・アイシンシロキ株式会社（自動車部品の製造）
- ・カリエール茨木（グリーンライフ株式会社、介護・福祉事業）
- ・高石工業株式会社（ゴム製品の製造）
- ・辰巳工業株式会社（バーナーノズル等の鋳物（いもの）加工）
- ・橋本食糧工業株式会社（餡（あん）の製造）
- ・株式会社伏見屋（とうふの製造、販売）
- ・株式会社富士パッキング工業所（紙・プラスチック等の裁断・加工）

バスツアー方式から、各企業を会場とした方式へ変更

次のページから、当日の様子をお伝えします

いばらき、クルクル。

いばらきオープンカンパニー

まちには まだまだ知られていない会社がある
一言では語れない会社があるから クルクルと地域をめぐるんだ
新しい発見とその刺激を受けて クルクル頭の中で何かが回りはじめる
キミの心をそその何かがまちにはたくさんある さあ冒険の時間だ
さあクルクル、クルクルとまちを楽しもう いばらき、参観日

まちをクルクルめぐり
見て・聞いて・体験しよう。

いばらき参観日



2024.11.4（月・祝）

会場 各会社にて

参加企業 辰巳工業、富士パッキング工業所、高石工業、
伏見屋、橋本食糧工業、アイシンシロキ、
カリエール茨木

次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。



イベント当日の様子（令和6年11月4日実施）



動画もご覧ください

去年のオープンカンパニー当日の様子をブランディング・ムービーにしましたので
ご覧いただきます

オープンカンパニーについて、より具体的なイメージにつながれば幸いです

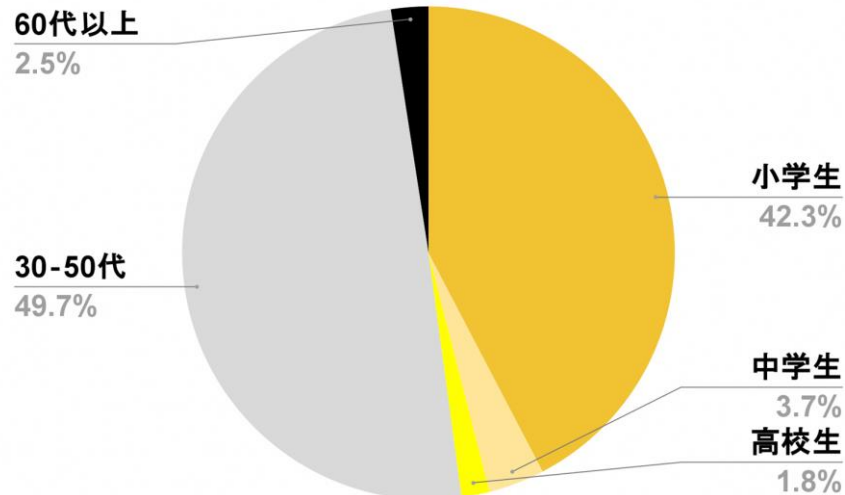


次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

全体で
約200人
が来場



※精緻ではありません。

来場者の声

スタッフに対する感謝の気持ち

皆さん**フレンドリー**で子供も喜んでた。社長が出て来ていたのも好感度がアップした
スタッフの皆さんもとても**温かく**迎えてくださって嬉しかったです

市民への認知活動の一環としての効果

茨木にある様々の企業を知ることができてよかった

住んでいる街のことを子どもと一緒に知れてよかった

自宅近くの工場だったので、こだわりをもって製品と向きあっていることを知れてよかった

参加者の次年度への期待

子供が初めての工場見学でしたがとても楽しかったと言ってた。なかなかこういう機会なくとも良い企画だと思います。次回も是非企画してください

参加した企業からは、どんな声が出ている？

イベント後、実施した振り返り会やヒアリングで聞いた声の一部

- ・今まで外部の人を招く機会はほとんどなく、新鮮だった
- ・たくさん人が来てくれて、やる側も楽しめた、やりがいがあった
- ・事務所や作業場をきれいにしよう、と思うきっかけになった
- ・案内看板やアンケート集計表を自ら作ってくれた従業員がいた
- ・他の企業も見てみたくなったので、後日見学させてもらった
- ・小中学生の見学受け入れなどの形も、今後ぜひやってみたい
- ・今後も続けたい



次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

今年のスケジュール（予定）

6月30日・7月11日 説明会

7月1日～8月8日 参加申込期間

（同時並行）ヒアリング、および周知に向けた取材

※ 7月に、モデルツアー（茨木市内での先行事例の見学）も検討しています
（日程は後日、改めてお知らせします）

8～11月 勉強会（ワークショップ、市外も含めた先行事例の見学等）（3回程度）

8～10月 周知物（チラシ、ポスター、特設ページ等）の作成

※10月めどに当日のプログラムを決めていただきます

10～11月 来場受付

11月後半 リハーサル ※検討中

12月5日（金）・6日（土） イベント当日

※どちらか1日、または両日程で参加をお願いします

※参加企業数により、開催期間が1日のみとなる場合があります

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。



去年参加いただいた企業の方から、
参加された感想や社内の反応、変化等を
共有いただきます。

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

いばらき、クルクル。